

# 日英多義語の認知意味論的分析

## — 「ニガイ（苦い）」と“bitter”—

皆 島 博<sup>\*1</sup>

(2022年9月20日 受付)

内容要約 本論は、認知意味論の理論的枠組みにおいて、日本語の多義語「ニガイ」とそれに対応する英語の多義語“bitter”の多義構造を分析する。また、日英対照言語学の観点から、両語の意味における類似点と相違点についても明らかにする。

キーワード：多義語・多義性・意味拡張・放射状カテゴリー・対照言語学・認知意味論

### 1. はじめに

本論は、日本語と英語の味覚形容詞「ニガイ（苦い）」と“bitter”を取り上げ、その多義構造および意味拡張のプロセスとその動機付けについて、認知意味論の観点から分析を行う。日本語の「ニガイ」と英語の“bitter”は、それぞれ、次のような、少なくとも3つの異なった語義（＝多義語の個々の意味）で用いられる点で多義的であるといえる。

- (1) a. ニガイ薬（味が苦い薬）  
b. ニガイ顔（不愉快そうな顔）  
c. ニガイ経験（つらい経験）
- (2) a. bitter coffee（苦いコーヒー）  
b. bitter wind（身を切るように冷たい風）  
c. bitter memory（つらい思い出）

認知意味論では、上のような日本語の「ニガイ」と英語の“bitter”が提示するさまざまな語義が

---

<sup>\*1</sup>福井大学教育・人文社会系部門総合グローバル領域

無秩序に派生してきたものではなく、プロトタイプの意味（基本義）を起点として、そこからなんらかの認知的動機付け（メタファー（隠喩）・メトニミー（換喩）・シネクドキ（提喩）によって意味拡張を展開し、相互に関連のある意味と意味とのネットワーク、すなわち、放射状カテゴリーを構成するようになったと考える。本論の目的は、「ニガイ」と“bitter”に関して、次の4点の課題について、認知意味論及び日英対照言語学の立場から分析と記述を行い、それらを明らかにすることである。

- ① 「ニガイ」と“bitter”の複数の語義の区別
- ② 「ニガイ」と“bitter”のプロトタイプの意味（基本義）の仮定
- ③ 「ニガイ」と“bitter”の意味拡張の動機付け（メタファー、メトニミー、シネクドキ）の認定
- ④ 「ニガイ」と“bitter”の多義構造にみられる類似点と相違点の指摘

## 2. カテゴリーとしての多義語

ある語が相互に関連した複数の意味を持っていることを多義性といい、また、そういう語を多義語という。例えば、英語の“eye”という語には、次のような意味がある（『ライトハウス英和辞典』の記述を一部修正・省略して引用）：

- ① 目，眼
- ② 視力，視覚，視線
- ③ 観察力，見分ける力，鑑賞力，眼力
- ④ 目つき，目もと
- ⑤ 目の形をしたもの；台風の目

認知意味論では、多義語を一種のカテゴリー、すなわち、複数の語義の集合と考える（舩山・深田 2003：141）。カテゴリーとは、現実世界に存在するさまざまなモノをグループ分け（分類）して、ひとまとめにして捉える心の働き（認知）をいう。多義語は、相互に関連した複数の意味をひとまとめにして、その構成員としての語の個々の意味から構成される、という点でカテゴリーを構成しているといえる<sup>1)</sup>。

認知意味論のカテゴリー観では、カテゴリーのすべての構成員が構成員であるための必要十分条件を満たしている必要はない。むしろ、構成員の間に中心的なものと同位的なものとの区別が存在するだけであると考えられる。また、他のカテゴリーとの間の境界線も曖昧なものであると考えられる。これらの点が、カテゴリーのすべての構成員は、プラス（+）かマイナス（-）かの二項対立に基づいて決定される必要十分条件を満たしている必要があり、また、他のカテゴリーとの間

の境界線も明確なものと考えていたアリストテレスの時代の古典的カテゴリー観と異なっている。認知意味論のカテゴリー観では、カテゴリーには次のような特徴があることが提案されている（Wittgenstein 1978；Labov 1973；Rosch 1975；Lakoff 1987）：

- ① カテゴリーの構成員は家族的類似を示す
- ② カテゴリーの構成員には典型的事例が存在する
- ③ カテゴリーの構成員はプロトタイプ効果を示す

まず、「家族的類似」とは、カテゴリーの全構成員は共通の性質を持っているわけではないが、各構成員が部分的にどこかで共通の性質を持つことによって、カテゴリー全体の統一性が保たれていることをいう。次に、「典型的事例」とは、カテゴリーの構成員の中には、最もわかりやすい例、つまり、代表的な構成員であるプロトタイプが存在することをいう。最後に、「プロトタイプ効果」とは、カテゴリーの構成員は均質なものではなく、典型的なものとはそうでないものに分かれ、構成員間でカテゴリーへの帰属度に程度差が存在していることをいう。

上で引用したカテゴリーとしての多義語“eye”に当てはめてみると、①～⑤の各語義がカテゴリーの構成員ということになる。そして、カテゴリーを構成するということは、カテゴリーの3つの特徴を示すということになる。したがって、カテゴリーの構成員（各語義）の間には、典型的な意味（プロトタイプ）とそうでない意味（非・典型的な意味）との違いが存在し（プロトタイプ効果）、全く同一の意味はないが、部分的に類似した意味が混在することによって、カテゴリー全体としての統一を保っている（家族的類似）と考えられる。

ところで、一つの語が多義性を獲得することを認知意味論では意味拡張といい、それはカテゴリー拡張の結果生じたものとする（Lakoff 1987；Sweetser 1990；Taylor 1995）。認知意味論では、多義語というカテゴリーは、古典的カテゴリー観の要件を満たすものではないので、そこには中心的構成員（プロトタイプの意味）とそれ以外の周辺的構成員とが混在する。なお、プロトタイプの意味（基本義）とは、複数の意味の中で最も基本的な意味のことで、意味拡張の起点となる意味であるが、主として、次のような特徴と傾向性をもつ（Dirven and Verspoor 1998；粗山 2002；瀬戸 2007a；高橋 2010；瀬戸他 2017）：

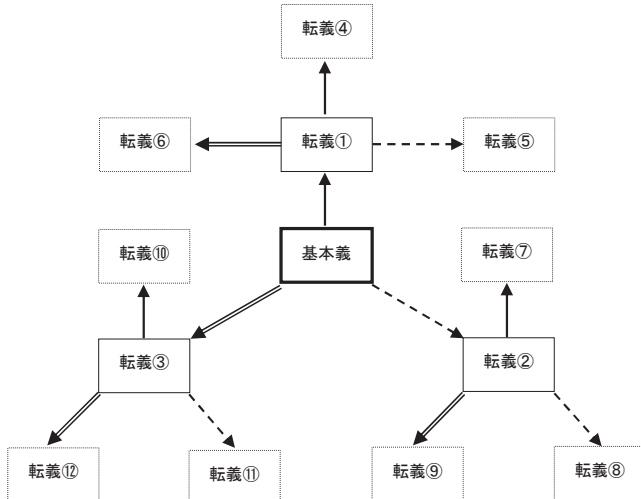
- ① 文脈なしで最も想起されやすく、身体性・具体性が高い、文字通りの意味。
- ② 言語習得の早い段階で獲得される意味。
- ③ 他の転義を理解する前提となる、あるいは、他の転義との関連性が自然に説明できる意味。
- ④ 使用頻度が高いことが多い意味。
- ⑤ 慣用表現や比喩で使用されやすい、すなわち、用法上の制約を受けにくい意味。

カテゴリー拡張では、この基本義を起点として「メタファー」「メトニミー」「シネクドキ」と呼ばれる3種類の比喩（認知的動機付け）が要因となり、複数の方向へ語義の意味拡張が展開する。これらについて、佐藤（1992）、瀬戸（1997）、初山・深田（2003）、瀬戸（2007a, b）、瀬戸他（2017）にしたがい、次のように定義する。

- ①メタファー：二つの事物の間に存在する何らかの類似性に基づいて、一方の事物を表す形式を用いて他方の事物を表す。
- ②メトニミー：二つの事物の間に存在する何らかの隣接性・近接性・関連性・連想に基づいて、一方の事物を表す形式を用いて他方の事物を表す。
- ③シネクドキ：一般的な意味（類概念）を持つ形式を用いて特殊な意味（種概念）を表す、逆に、特殊な意味（種概念）を持つ形式を用いて一般的な意味（類概念）を表す。

カテゴリー拡張の最も一般的な形態を放射状カテゴリーと呼ぶ。これは、Lakoff (1987) で提示されたモデルで、中心的構成員（プロトタイプ）を2次的構成員（非プロトタイプ）が取り囲み、その2次的構成員を中心に、それを3次的な周辺的な構成員が取り囲む、というように、文字通り、結果として、中心から外へ向かって放射状に拡張していくカテゴリーのことである（辻 2002: 238；辻 2013: 340）。多義語の放射状カテゴリーのモデル（多義ネットワークモデル）を図示すると下のようになる（辻 2002：238；瀬戸 2007a：5；瀬戸 2007b：41；瀬戸 2019：311；瀬戸他 2017；辻 2013: 340）を参考に作成）。なお、実線矢印はメタファーに、破線矢印はメトニミーに、二重線矢印はシネクドキに動機付けられた意味拡張を表す：

図1 多義語の放射状カテゴリーのモデル



上の図で、中心に位置する「基本義」が中心的構成員（プロトタイプ）で、そこから、それぞれ、メタファー、メトニミー、シネクドキによって、「転義①」、「転義②」、「転義③」の第2次構成員へとカテゴリー拡張をしている。さらに、「転義①」から、それぞれ、メタファー、メトニミー、シネクドキによって、「転義④」、「転義⑤」、「転義⑥」の第3次構成員へとカテゴリー拡張をしている。「転義②」と「転義③」からのカテゴリー拡張についても同様である。ただし、この放射状カテゴリーの図は多義語の意味拡張の理論上のプロセスを図示したモデルにすぎない。したがって、すべての多義語がこのような意味拡張のプロセスをたどるということではないことに注意する必要がある<sup>2)</sup>。

### 3. 日本語「ニガイ」の多義構造

#### 3.1 「ニガイ」の複数の意味

ここでは、「ニガイ」の複数の意味（語義）の区別を行う。語義の区別に際して、本論が指針とするのは国語辞典における意味の分類と記述である。本論では、『広辞苑』、『大辞林』および『大辞泉』の3種類の国語辞典を参照する。まず、「ニガイ」の見出しの下に挙げてある語義数を比較すると、『広辞苑』（3語義）、『大辞林』（3語義）、『大辞泉』（3語義）となっており、語義数に関しては同じである。

広辞苑	大辞林	大辞泉
①舌に快くない味を感じる。	①舌にいやな味を感ずる。	①舌を刺激し、口がゆがむような嫌な味である。
②面白くない。不愉快である。	②不機嫌である。不愉快に感じる。	②不快である。おもしろくない。にがにがしい。
③つらい。くるしい。	③つらい。苦しい。	③つらくて苦しい。その事を考えたり思い出したりするのも嫌である。

これらについて、意味領域、意味分野が共通しているもの、近いものでまとめて、語義の記述を再整理すること次のように大きく2系列に区別できる。なお、辞典名の右側の番号は各辞典における項目の通し番号である。

I 「味覚」に関する意味：広辞苑①、大辞林①、大辞泉①

II 「感情」に関する意味

(i)：広辞苑②、大辞林②、大辞泉②

(ii) : 広辞苑③, 大辞林③, 大辞泉③

以上, 3つの国語辞典における「ニガイ」の意味の分類と記述を再整理してみると, 次のように3通りに区別できる。上記のように, 国語辞典の記述を再整理した結果をもとに, 「ニガイ」に対して最終的に次のような3つの意味(基本義と転義)を認定する。

**語義①〈味覚：苦みがある〉：概念 {舌に不快な味を感じる。舌に嫌な味を感じる。舌を刺激し、口が歪むような嫌な味である}<sup>3)</sup>**

(3) ビールやコーヒー, お茶など, 大人の飲む物はなぜニガイ物が多いのでしょうか? それらの苦味や酸味をおいしく感じるのは, 人間が成長する過程で, 学習して慣れたためだと言われ, 人は, それをおいしく思えるようになっただけです。

<http://aurin.jp/jiyouhou/tabemono/nigari.htm>

**語義②〈感情：不愉快な〉：概念 {不快である。面白くない。不機嫌である。にがにがしく思う}**

(4) 子どもがマンガを夢中で読む姿を見て, ニガイ顔をしていませんか? 「マンガは子どもに害」と思われがちですが, 実はさまざまなメリットもあるとか。

<http://iko-yo.net/articles/404>

**語義③〈感情：つらい〉：概念 {苦しい。ある出来事を考えたり思い出したりするのも嫌である}**

(5) 5月に行われるはずだったライブを見るために行きました。最後の国立でのライブということで楽しみにしていましたが, まさかの当日に中止発表…まさにニガイ思い出でした。

[http://www.jalan.net/kankou/spt\\_13104ae2190022647/kuchikomi/0000539904/](http://www.jalan.net/kankou/spt_13104ae2190022647/kuchikomi/0000539904/)

### 3.2 「ニガイ」の意味拡張とその認知的動機付け

上で「ニガイ」に3個の複数の意味を区別した。ここでは「ニガイ」の意味拡張とその誘因となる認知的動機付けについて考察するが, 最初に意味拡張の起点となるプロトタイプの意味(基本義)を仮定する。多義語の複数の意味のうち, プロトタイプの意味が備えた特徴と傾向性を第2節で示したが, それらを考慮すれば, 「ニガイ」の複数の意味の中でも文字通り「身体性・具体性」の高い「味覚」を表す語義①〈苦みがある〉を基本義として仮定するのが妥当であろう。

次に, 基本義〈苦みがある〉からその他の転義への意味拡張であるが, その認知的動機付けに関しては, 基本義は「味覚」の意味領域に含まれるものであるため, それ以外の意味領域, つま

り「感情」の意味領域への意味拡張はメタファー（共感覚メタファー）によるものになる。

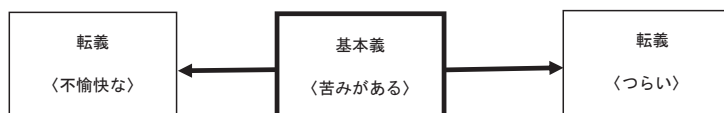
基本義〈苦みがある〉⇒転義〈不愉快な〉：メタファー的拡張

基本義〈苦みがある〉⇒転義〈つらい〉：メタファー的拡張

### 3.3 「ニガイ」の意味のネットワーク

ここまで見てきた「ニガイ」の意味拡張のプロセスを放射状カテゴリー（意味のネットワーク）の形に図示すると次のようになる。なお、図で実線矢印はメタファーを表している：

図1 「ニガイ」の放射状カテゴリー



## 4. 英語 “bitter” の多義構造

### 4.1 “bitter” の複数の意味

ここでは、“bitter”の複数の意味（語義）の区別を行う。語義の区別に際して、本論が指針とするのは英英辞典における意味の分類と記述である。本論では、*Merriam-Webster’s English Learner’s Online Dictionary*（以下、MWE）、*Oxford Learner’s Dictionaries* (OLD)、及び *Longman Online Dictionary* (LOD) の3種類の英英辞典を参照する。まず、“bitter”の見出しの下に挙げてある語義数を比較すると、MWE（5語義）、OLD（5語義）、LOD（5語義）となっており、語義数に関しては同じである。なお、各英英辞典の定義には日本語訳も付してある。

MWE	OLD	LOD
① having a strong and often unpleasant flavor that is the opposite of sweet (甘さとは真逆の強烈でしばしば不快な風味がする)	④ (of food, etc.) having a strong, unpleasant taste; not sweet ([飲食物などについて] 強烈で不快な味がする；甘くない)	④ having a strong sharp taste, like black coffee without sugar (砂糖抜きブラックコーヒーのような鋭い強烈な味がする)
② causing painful emotions; felt or experienced in a strong and unpleasant way (苦痛を伴う感情を引き起こす；強烈にそして不快に、感じられる、または経験をする)	③ [usually before noun] making you feel very unhappy; caused by great unhappiness ([通常名詞の前] 非常に不満に感じさせる；大きな不満によって引き起こされる)	② [only before noun] making you feel very unhappy and upset ([名詞の前だけ] 非常に不満に感じさせる、ムカつく)

MWE	OLD	LOD
③ angry and unhappy because of unfair treatment (不当な扱いを受け怒りそして不満に思っている)	② (of people) feeling angry and unhappy because you feel that you have been treated unfairly ([人について] 不当に扱われたと思ったために、怒りと不満を感じる)	① feeling angry, jealous, and upset because you think you have been treated unfairly (不当に扱われたと思ったために、怒り、嫉妬を感じる、憤慨している)
④ feeling or showing a lot of hatred or anger (多くの憎しみや怒りを感じるまたは表す)	① (of arguments, disagreements, etc.) very serious and unpleasant, with a lot of anger and hate involved ([議論や意見の相違などについて] 多くの怒りや憎悪が伴い、非常に深刻で不快である)	③ a bitter argument, battle etc is one in which people oppose or criticize each other with strong feelings of hate and anger (議論、論争などで強烈な憎悪や怒りの感情を伴い、人が対立または批判し合っている)
⑤ very cold (非常に寒い)	⑤ (of weather conditions) extremely cold and unpleasant ([気象条件について] 極端に寒く不快な)	⑤ unpleasantly cold (不快なくらい寒い)

これらについて、意味領域、意味分野が共通しているもの、近いものでまとめて、語義の記述を再整理すること次にように区別できる。なお、辞典名の右側の番号は各辞典における項目の通し番号である。以上、3つの英英辞典における“bitter”の意味の記述を日本語に訳して、再分類・再整理してみると、次のように3系列に区別できる。

I 「味覚」に関する意味：MWE①, OLD④, LOD④

II 「知覚」に関する意味：MWE⑤, OLD⑤, LOD⑤

III 「感情」に関する意味

(i) : MWE②, OLD③, LOD②

(ii) : MWE③, OLD②, LOD①

(iii) : MWE④, OLD①, LOD③

上記のように、英英辞典の記述を再整理した結果をもとに、“bitter”に対して最終的に次のような5つの意味を認定する。

I 語義① 〈味覚：苦味がある〉：概念 {飲食物などについて、砂糖抜きブラックコーヒーのよう  
うな、甘さと真逆の鋭く強烈で不快な渋い味・風味がする}



(6) Examples of bitter food include unsweetened cocoa, coffee, marmalade, beer, olives, citrus peel etc. Lemon, spoilt milk, oranges, grape etc. are examples of sour food. (苦い食べ物の例として、甘くないココア、コーヒー、マーマレード、ビール、オリーブ、橘皮などがあります。レモン、腐った牛乳、オレンジ、ブドウなどは酸っぱい食べ物です)

[http://www.diffen.com/difference/Bitter\\_vs\\_Sour](http://www.diffen.com/difference/Bitter_vs_Sour)

## II 語義② 〈知覚：厳寒の〉：概念 {気候・気温などについて、不快なほど極度に寒い}

(7) When outdoors in bitter weather, dress to prevent hypothermia by wearing layers of warm clothing, which traps air between layers forming a protective insulation. (屋外が身を切るような寒さの時は、低体温になるのを防ぐため温かい服を何枚も着て下さい、そうすることで熱を保護する断熱体が作られ服の層の間の熱を逃しません)

<http://www.aahpo.org/MedicalAlert-23.html>

## III (i) 語義③ 〈感情：ムカつく〉：概念 {人が不当な扱いを受けたと感じ、憤っている、苦しんでいる、不愉快である}

(8) My boyfriend broke up with me 1.5 months ago. I feel bitter about it and wish bad things for him. I hate myself for it. How long should I wait before this phase passes? (彼氏と一か月半前に別れました。そのことにムカついていて、元彼に悪いことが起きよう祈っています。そのことで自己嫌悪にもなります。こういう時期が過ぎてしまうのはいつでしょうか)

<https://www.quora.com/My-boyfriend-broke-up-with-me-1-5-months-ago-I-feel-bitter-about-it-and-wish-bad-things-for-him-I-hate-myself-for-it-How-long-should-I-wait-before-this-phase-passes>

## III (ii) 語義④ 〈感情：辛辣な〉：概念 {論争や言動などが対立的で、強烈な怒りと憎しみの感情を伴っていて、非常に深刻で嫌な感じがする}

(9) But that isn't the only reason George Obama's statement is remarkable. It's also remarkable because it stands in stark contrast not only to Barack Obama's bitter words on the African colonial experience, but also to the bitter words of Obama's father and even Obama's Hawaii mentor, Frank Marshall Davis. (しかし、それだけがジョージ・オバマの言ったことが特筆すべきだという理由ではありません。それがまた特筆すべきなのは、アフリカの植民地経験に関するバラク・オバマの厳しい言葉だけでなく、オバマの父親、さらにはオバマのハワイ時代の恩師フランク・マーシャル・デイヴィスの厳しい言葉に対しても完全な対照をなしているからです)

[http://www.americanthinker.com/articles/2012/07/is\\_obamas\\_brother\\_a\\_conservative\\_republican.html](http://www.americanthinker.com/articles/2012/07/is_obamas_brother_a_conservative_republican.html)

Ⅲ (iii) 語義⑤ 〈感情：つらい〉：概念 {出来事などについて，非常に不幸に苦しく感じられる} {経験などについて，嫌悪や怒りを多く感じる}<sup>4)</sup>

(10) Obviously, when you lose you are in a bitter mood until the next game, so I hope the week goes by quickly and we can revert this bad streak of results. (明らかに，負けた時は次の試合まで嫌な気分になりますから，その週が早く過ぎ去り，この一連の悪い結果を元に戻せることを願います)

<http://www.thesportreview.com/tsr/2015/05/juan-mata-im-in-a-bitter-mood-after-man-utd-defeat/>

#### 4.2 “bitter”の意味拡張とその認知的動機付け

上で“bitter”に5個の複数の意味を区別した。ここでは“bitter”の意味拡張とその誘因となる認知的動機付けについて考察するが，最初に意味拡張の起点となるプロトタイプの意味（基本義）を仮定する。多義語の複数の意味のうち，プロトタイプの意味が備えた特徴と傾向性を第2節で示したが，それらを考慮すれば，“bitter”の複数の意味の中でも文字通り「身体性・具体性」の高い「味覚」を表す語義①〈苦みがある〉を基本義として仮定するのが妥当であろう。

次に，基本義〈苦みがある〉からその他の転義への意味拡張であるが，その認知的動機付けに関しては，基本義は「味覚」の意味領域に含まれるものであるので，それ以外の意味領域，つまり「感情」の意味領域へ意味拡張はメタファー（共感覚メタファー）によるものになる。

基本義〈苦みがある〉⇒転義〈極寒の〉：メタファー的拡張

基本義〈苦みがある〉⇒転義〈ムカツク〉：メタファー的拡張

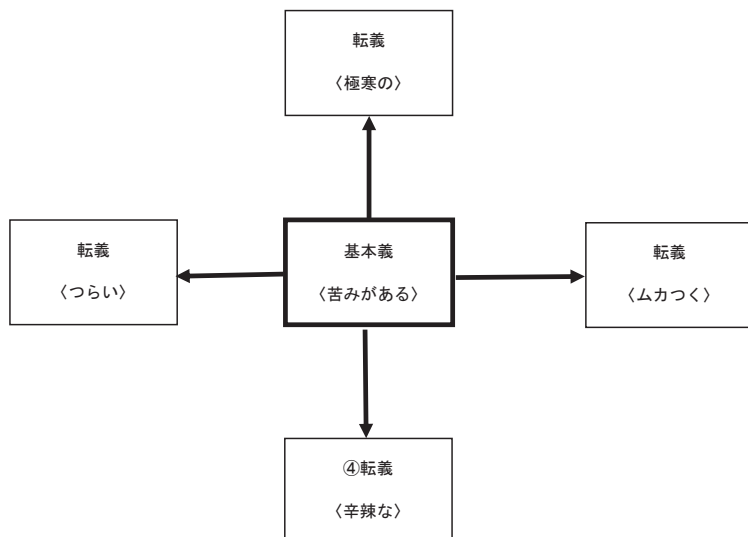
基本義〈苦みがある〉⇒転義〈辛辣な〉：メタファー的拡張

基本義〈苦みがある〉⇒転義〈つらい〉：メタファー的拡張

#### 4.3 “bitter”の意味のネットワーク

ここまで見てきた“bitter”の意味拡張のプロセスを放射状カテゴリー（意味のネットワーク）の形に図示すると次のようになる。なお，図で実線矢印はメタファーを表している：

図2 “bitter”の放射状カテゴリー



## 5. おわりに

本論は、日本語と英語の味覚形容詞「ニガイ」と “bitter” の多義構造について認知意味論的観点から分析し、「ニガイ」と “bitter” の意味構造における類似点と相違点について認知言語学的観点から考察した。その結果明らかになったのは以下のような点である。

- ① 「ニガイ」と “bitter” は多義語であり、放射状カテゴリーを構成する。
- ② 「ニガイ」と “bitter” の基本義として、味覚の意味〈苦みがある〉を仮定するのが妥当である。
- ③ 「ニガイ」と “bitter” の意味拡張の動機付けとしては、メタファー（共感覚）だけである。
- ④ 「ニガイ」と “bitter” の意味拡張の傾向としては、日英両語ともに、それぞれの基本義が有する「不快な味覚」の概念に関連した方向への拡張が見られる<sup>5)</sup>。

## 注

- 1) 認知意味論では、人間を、意味を読み取り、意味を発信する主体とみなし、「意味」については、人間の身体性（感覚・知覚・認知など）の総合的な営みを通じて概念化されたものと考え、概念化することはカテゴリー化することと同じであるという立場を取る。
- 2) 査読者より「ニガイ」と “bitter” について、それぞれ語源的な意味と通時的意味変化の側面の考察の必要性をご指摘いただいた。本論では、「多義語が共時的に（関連のある）複数の意味を持つときにのみ、多義語とみなし」（初山 2021: 3）、また「語源の知識等を持たない現代語の通常之母語話者が知っているのは、現代語の意味に限られる」（初山 2021: 4）ことを踏まえて、両語の語彙史的側面については考察の対象から除外した。
- 3) 本論では、意味の記述に2つのレベルを設ける。一つは、「語義」で〈…〉で囲んで表す。もう一つは、「概念」

で「…」で囲んで表す。「語義」と「概念」は、それぞれ語の意味の一側面を構成する。「語義」は、語の意味をなるべく簡潔に、ワンフレーズで収まるようにまとめた記述である。「概念」は、語の意味をなるべく、具体的に、詳細に、百科事典の意味をも交えて、まとめた記述である。

- 4) この意味における“bitter”は限定用法のみで名詞の前に置かれる。
- 5) 日本語「ニガイ」の反対語「アマイ」では、「アマイ考え」「プレーキがアマイ」のように、本来の心地よい味覚を表すイメージとは逆方向のネガティブな意味への拡張も見られる。この点、「ニガイ」と“bitter”は、両者とも不快な味覚とは逆のイメージ（すなわち、心地よいイメージ）と結びついた方向への意味拡張は見られない。山添（2003：227）にも「日本語の『甘い』はプラス・マイナス両方の価値がある。他方、bitterはマイナスの価値しかない」という指摘がある。

## 参考文献

- Dirven, René and Marjolijn Verspoor (1998) *Cognitive Exploration of Language and Linguistics*. Amsterdam: John Benjamins.
- Labov, William (1973) The Boundaries of Words and Their Meanings. In: Charles-James N. Bailey and Roger W. Shuy (eds.) *New Ways of Analyzing Variation in English*, 340-373. Washington: Georgetown University Press.
- Lakoff, George (1987) *Women, Fire, and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind*. Chicago: The University of Chicago Press.
- 初山洋介（2002）『認知意味論のしくみ』（シリーズ・日本語のしくみを探る⑤）東京：研究社。
- 初山洋介・深田智（2003）「意味の拡張」松本曜（編）『認知意味論』（シリーズ認知言語学入門第3巻）73-134. 東京：大修館書店。
- 初山洋介（2021）『[例解] 日本語の多義語研究 認知言語学の視点から』東京：大修館書店。
- Rosch, Eleanor (1975) Cognitive Representations of Semantic Categories. *Journal of Experimental Psychology: General* 104: 192-233.
- 佐藤信夫（1992）『レトリック感覚』講談社学術文庫。
- 瀬戸賢一（1997）「第Ⅱ部 意味のレトリック」巻下吉夫・瀬戸賢一『文化発想とレトリック』（日英語比較選書①）94-177. 東京：研究社。
- 瀬戸賢一（編）（2007a）『英語多義ネットワーク辞典』東京：小学館。
- 瀬戸賢一（2007b）「メタファーと多義語の記述」楠見孝（編）『メタファー研究の最前線』31-61. 東京：ひつじ書房。
- 瀬戸賢一（2019）「メタファー・メトニミー・シネクドキ」辻幸夫（編）『認知言語学大辞典』303-314. 東京：朝倉書店。
- 瀬戸賢一・山添秀剛・小田希望（2017）『[認知言語学演習②] 解いて学ぶ認知意味論』東京：大修館書店。
- Sweetser, Eve (1990) *From Etymology to Pragmatics: Metaphorical and Cultural Aspects of Semantic Structure*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 高橋英光（2010）『言葉のしくみー認知言語学のはなし』札幌：北海道大学出版会。
- Taylor, John R. (1995) *Linguistic Categorization: Prototypes in Linguistic Theory*. Oxford: Clarendon Press.
- 辻幸夫（2002）『認知言語学 キーワード辞典』東京：研究社。
- 辻幸夫（2013）『新編 認知言語学キーワード辞典』東京：研究社。
- Wittgenstein, Ludwig (1978) *Philosophical Investigations* (trans. G.E.M. Anscombe) . Oxford: Basil Blackwell.

山添秀剛 (2003) 「苦くてビター」『ことばは味を超える 美味しい表現の探求』瀬戸賢一編, 215-238, 東京：海鳴社.

### 参照国語辞典

『広辞苑』(第五版)

『大辞林』(第三版)

『大辞泉』(オンライン版)

### 参照英英辞典

*Oxford Learner's Dictionaries* (オンライン版)

*Longman Online Dictionary* (オンライン版)

*Merriam-Webster's English Learner's Online Dictionary* (オンライン版)

### 参照英和辞典

『ライトハウス英和辞典』(初版)

### 例文検索ウェブサイト

<https://www.google.com/>